

久留米工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	政治・経済	
科目基礎情報							
科目番号	0141			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	生物応用化学科			対象学年	2		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	『政治・経済資料 2 0 1 5』東京法令出版（教科書）その他適宜プリントを配布します。						
担当教員	藍澤 光晴						
到達目標							
①民主主義の基本原理について理解できるようになる。 ②日本国憲法の基本原理、日本の政治機構などについて理解する。 ③現代経済のしくみを基礎的な経済理論の観点から理解し、国民経済の動向および、政府の役割と日本経済が抱える課題を考える力をつける。 ④自らの意見を理論的に説明する能力を身につける。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	広い視野を持ち、民主主義の本質への理解を深め、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解し、公正な判断力の涵養を目指します。前期では政治分野、後期では経済学分野を取り扱い、現代社会における政治、経済問題について主体的に考えられるようになりましょう。						
授業の進め方・方法	基本的には座学中心ですが、毎回授業終了時に小テストを実施します。小テストは皆さんの理解度の確認も兼ねていますので、次回の授業時に特に良かった答案を紹介しながら復習を兼ねて解説を行うようにします。						
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	イントロダクション				
		2週	第1章 現代の政治				
		3週	国家と法				
		4週	民主主義の成立				
		5週	世界のおもな政治体制				
		6週	日本国憲法の制定と基本原理				
		7週	基本的人権と平和主義				
		8週	国会と立法				
	2ndQ	9週	内閣と行政				
		10週	裁判所と司法				
		11週	地方自治				
		12週	現代の国際政治				
		13週	国際法				
		14週	国際政治の動向と課題				
		15週	環境問題 政治分野の復習				
		16週					
後期	3rdQ	1週	第 2 章 現代の経済				
		2週	資本主義と社会主義				
		3週	市場経済				
		4週	経済成長と景気				
		5週	資本循環と金融				
		6週	政府の経済活動と財政				
		7週	財政赤字と税制改革				
		8週	戦後日本経済の展開				
	4thQ	9週	日本経済の現状と課題				
		10週	労働経済				
		11週	社会保障				
		12週	社会福祉				
		13週	国際経済				
		14週	貿易と国際収支				
		15週	まとめ 経済分野の復習				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計

総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0